

デザイン仕様書

■内容

「床の間」の要素を取り入れた“和モダンな飾り棚”のデザイン

■基本コンセプト

弊社の所在地である福岡県大川市は木工の産地として知られ、家具、建具に関わる伝統的な技術から最新技術まで様々な木工技術が集約されています。弊社の強みはそれらの技術を取り入れてオーダーメイドの家具製作に取り組める点です。

本事業では弊社がこれまでに蓄積した多様な木工技術を生かして、「床の間」の要素を取り入れた“和モダンな飾り棚”の開発を行います。

■具体的な仕様

【デザインテーマ】

「床の間」を構成する要素とは

「床の間」は日本の住宅の畳の部屋に見られる座敷飾りであり、床柱・床框などで構成され、掛け軸や生けた花などを飾る場所である。床の間の脇には袋棚や違い棚を設けた「床脇」、床の間の明かり取りを目的とした「付書院」がある。本事業で開発する飾り棚は、これらの要素をモチーフとし、インバウンド客や富裕層向けのハイエンドな店舗やホテル、旅館等のインテリア、一般住戸の室内空間にも調和する和のテイストを現代の感覚で再構成したモダンなデザインを目指す。

【利用シーン】

壁面への配置だけでなく、空間を間仕切る飾り棚としての活用も想定し、正面、背面とどこから見ても美しく、また利用できる飾り棚である。

【使用する材料】

木材（樹種不問）を主材料とし、次頁に掲載した職人が作るござや漆、組子、突板等の様々な工芸品などの異素材の利用も可能である。

■ターゲット・販売戦略

【ターゲット】

インバウンド客や富裕層をもてなすための飾り棚として、ハイエンドな店舗、ホテル、旅館等をターゲットとする。

【販売戦略】

店舗設計を行う工務店等を主な販路先として、弊社ホームページ内にランディングページを開設するなどの販促活動を行う。

■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

【株式会社プロセス井口の紹介】

弊社では、主に木材をカットし家具の制作に使われる芯材やテーブルの天板となる集成材等を製材するなど、住まいに関わる資材を取り扱っております。この他、店舗の什器などの家具作りを行っています。



工場の様子



家具の材料となる芯材

最近では、グラフィックデザイナーの原案をもとに大川市の職人たちの技を集結させた組み立て式の茶室や和傘をイメージしたバーカウンターなどを製作しました。東京都内や北米において出展した際に、これらの製品は非常に高い評価を得ています。



組み立て式の茶室



和傘カウンター



グラミー賞オフィシャルタレントラウンジにて展示
(ロサンゼルス)



羽田空港国際線ターミナルの出国後
エリアにて展示

このような実績を背景に、昨今では様々なオーダー家具の製作依頼がありますが、一点物の大型の別注家具が多いこともあり、本事業を通して置き家具（飾り棚）のプロパー商品を新しく開発したいと考えています。

大川市には様々な職人がおり、弊社では彼らの協力を得て、様々なものづくりを手掛けてきました。本事業においても様々な木工技術を取り入れ、組み立て式茶室などに続く、新作家具の製品化を目指しています。これまでの弊社の製品（下写真参照）を参考にし、デザインの検討をお願いします。



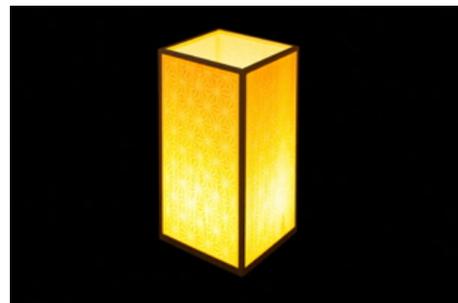
セラウッド塗装^{*1}で鏡面仕上の木皿とござのマット



漆で独特な模様塗り込んだ名刺ケース



組子を素材としたランプシェード



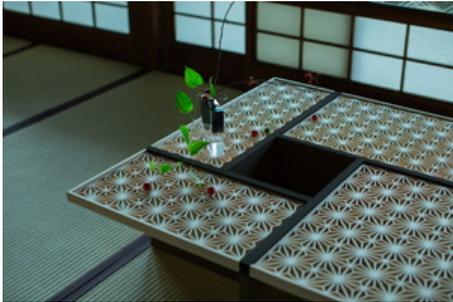
突板を素材としたランプシェード



畳ソファ



畳ベンチ



組子のセンターテーブル



重箱

■実施スケジュール（予定）

令和元年10月：デザイン事業者公募・決定

〃 11月～12月：デザイン企画の打ち合わせ

令和2年 1月：1次試作 検証・仕様修正

令和2年 2月：2次試作 試験・検証・仕様修正

令和2年 3月：製品化・完成

令和2年 4月～：展示会等への出品

■プロジェクト参画企業等

企業名：株式会社プロセス井口（福岡県大川市大字一木87-1）

主な商品：製材、フローリング材、店舗什器の別注家具

■語句説明（必要なら記載）

*1：撥水・耐汚性能に優れ、従来のウレタン塗装に比べて木材の質感・素材感を活かすことができる。また紫外線遮断構造を持っており変色も少なく、シックハウスの起因となる物質は配合していない安全な塗装である。